

## 臨床研究概要

整理番号 12-12-09

### 研究課題名

トロポニンT陽性ACSにおける治療の現状とその効果の実態調査

### 目的と意義

本邦における現状の急性冠症候群（ACS）診療と主治療である経皮的冠動脈形成術（PCI）の実態を明らかにする。この研究によって本邦におけるACSの現状、問題点を明らかにし、より質の高いACS診療および治療法の普及に寄与しうる。

### 適格基準

本研究の対象は、自然発症の急性心筋梗塞とする（PCIやCABG後の周術期合併症は含まない）。文書による患者の同意：本研究は日常臨床における治療の記録であるため、研究実施の公開をオプトアウト（OPT OUT）方式で行う。本登録研究に特化した承諾書の作成はしない。

### 方法

参加施設は治療内容と患者背景をデータシートに記載し登録する。また、冠動脈画像記録の提出を行う。提出されたデータは国立循環器病センターにおいて集計・管理及び解析を行う。画像診断に関しては、外部委託団体が画像解析を担当する。登録後5年間の臨床的予後調査を行う。

### 評価項目

急性心筋梗塞発症の疫学、心筋逸脱酵素などの血液生化学検査、PCI手技の内容・治療効果、心機能、冠動脈画像診断の解析、抗血小板薬などの治療薬の使用状況など。

目標症例数：対象施設でのACS全患者

試験予定期間：承認日より2020年3月31日まで

主幹機関：国立循環器病センター心臓血管内科